

おすすめの子どもの本



■2014年11月から2015年10月に出版された中から、特におすすめする本のリストです。子どもの本に関わる大人の方へお伝えするために作成しました。

■本の情報は、書名、著者名、出版社名、図書館での分類記号、対象年齢の順になっています。

2016年4月発行 発行者：枚方市立中央図書館 児童サービス委員会 電話 050-7105-8121 FAX 072-851-0962



すべての子どもに

マルチメディア DAISY図書

読書を!

★様々な障害のため、通常の本を読むことが困難な子どものために作られたデジタル図書。パソコン画面に音声や文字と絵が一緒に表示され、どこを読んでいるのかわかります。文字の大きさ、音声のスピード、文字や背景の色が自由に選べます。

わいわい文庫 2015Ver. BLUE

伊藤忠記念財団 U913【小学校低～高学年】

(Ver. BLUEは2013/2014/2015があり、中央図書館に所蔵しています。)

★CD「わいわい文庫」は、起動ソフトが付加されており、パソコン(Windows)に挿入するだけで再生できます。この青い盤面(Ver.BLUE)に収録されている作品は、著作権者の許諾を得ており、障害の有無に関わらずどなたでも利用可能です。



【収録作品】因幡の白うさぎ/海の中をのぞいてみよう2/どーこだ!/東京モノレールのこれまでこれから/東京モノレール車両ラインアップ/安全安心を支える昭和島総合センター/大空へのさんぼ道/むかしばなしの鳥たち/つるのよめさま(注1)/ももたろう(注1)/わらしべちょうじゃ(注1)/キャンプでカレーライスを作ろう1~4/ことこと ことこと
 <<※(注1)は、①素読み②紙芝居風③素読みの短縮版④紙芝居風の短縮版の4バージョンがあります。>>

えほん

女王さまのぼうし

スティーブ・アントニー／作 せな あいこ／訳
評論社 **工ホソ**【幼児～小学校低学年】

女王さまのぼうしが、風で吹き飛ばされ、トラファルガー広場を超え、ロンドン動物園をぬけ、なんとビッグベンの頂上まで飛んでいきました。女王さまと犬と執事と衛兵達とその後を追いかけて。画面いっぱいに広がるロンドンの街を一緒に体験してみましょう。

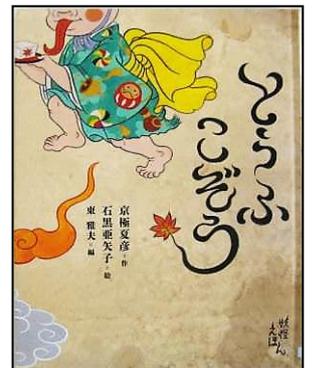


とうふこぞう

(京極夏彦の妖怪えほん 笑)

石黒 亜矢子／絵 京極 夏彦／作 岩崎書店
工ホソ【幼児～小学校低学年】

夜になり、家じゅうにおばけの気配を感じた男の子は怖くてたまりません。頭から布団をかぶって寝ようとすると、その上に何かが乗ってきました。男の子が恐る恐る布団から顔をだすと、妖怪「とうふこぞう」がいたのです。夜の得体の知れない怖さと、ユーモラスなとうふこぞうのギャップが楽しめます。



タケノゴぼん

伊藤 秀男／絵 大島 渚／文 ポプラ社

工ホン 【幼児～小学校高学年】

友達のお父さんや、たくましい担任の先生が戦死し、後任のひ弱そうな先生までが戦争に行くと聞き、ぼくは級友たちと先生の家を訪ねます。映画監督の大島渚が小学生の息子のために、第二次世界大戦下だった少年時代の思い出を綴った作文を絵本化したものです。

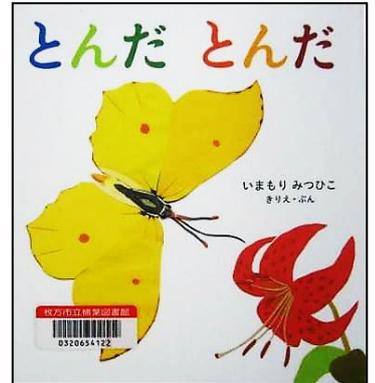


とんだとんだ

いまもり みつひこ／切り絵・文 福音館書店

工ホン 【幼児～小学校低学年】

いろいろな種類の蝶が、ほわんほわん、ふわっふわっ、ゆらりゆらりと、次々に羽を広げて飛び立っていきます。その蝶の姿を、昆虫を撮り続けてきた著者が、色画用紙を重ね合わせた切り絵で、リアルに描き出しています。



オニのサラリーマン

大島 妙子／絵 富安 陽子／文 福音館書店

工ホン 【小学校低学年～中学生】

地獄カンパニーの平社員、オニガワラ・ケンは、女房と二人の子どものため、弁当片手にすし詰めバスで出勤します。今日の仕事は「血の池地獄」の見張り番です。ところが、愛妻弁当を食べた後、つい居眠りをして仕事で大失敗し、閻魔大王に怒られてしまいました。オニのサラリーマンの地獄での一日を描きます。

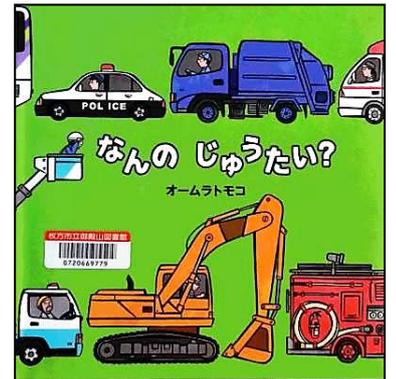


なんのじゅうたい?

オームラ トモコ／作 ポプラ社

工ホン 【幼児～小学校中学年】

三輪車、ショッピングカート、バス、トラックなど 50 台の車が渋滞しています。その原因をつきとめ、警備員が走って見に行くと、クレーン車が大きな卵を吊り上げています。その卵から生まれたのは恐竜の赤ちゃんでした。渋滞のイライラも吹っ飛ば、あっと驚く結末が見ものです。



セイウチくんをさがせ!!

スティーヴン・サヴェッジ／作 評論社

工ホン 【小学校中学年～中学生以上】

飼育員のおじさんの目を盗んで、セイウチくんが動物園から逃げ出しました。セイウチくんは街中の景色に溶け込み、巧みに隠れます。飼育員のおじさんは、セイウチくんを捕まえられるでしょうか。シンプルで動きのある絵が楽しい、文字のない絵本です。



かとりせんこう

田島 征三／作 福音館書店

工ホン 【幼児～小学校高学年】

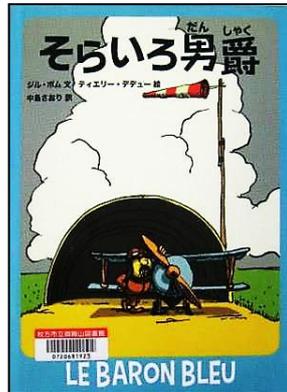
蚊取り線香ががももん煙ると、蚊だけでなく、花、ぼうし、新聞紙の文字、ゆうれい、UFOと、なんでもかんでも落ちてきます。今度は何が落ちてくるかと、はらはらどきどきさせられます。



そらいろ男爵

ティエリー・デデュー／絵 ジル・ボム／文
中島 さおり／訳 主婦の友社 **エホン**
【小学校高学年～中学生】

空色の飛行機でのんびり空を飛んでいた男爵も、地上で戦争が始まると参戦します。男爵は、砲弾代わりに分厚い本を空から敵方に落として大活躍しますが、最後の1冊が標的ではなく、敵の隊長の心をとらえたのです。一度は武器にされた本が、やっと本来の力を取り戻す話です。



たびにでたファルガさん

カニカ・ナイル／絵 チトラ・サウンダー／文 長
谷川 義史／訳 光村教育図書 **エホン** 【幼児
～小学校中学年】

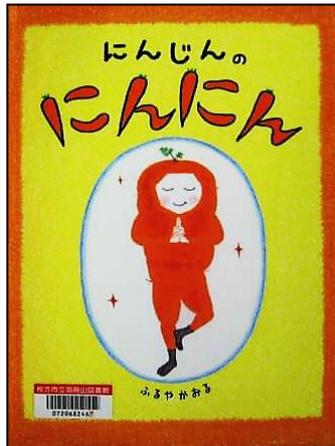
「コッコッ モウモウ ワンワン ガーガガガー」とうるさい農場から、ファルガさんは荷車で、静けさ探しの旅に出ます。ところが、次々に人が乗り込んできて、楽器が鳴るとファルガさんもつられて一緒に歌います。やがてみんなが降りて静かになり、ファルガさんは旅の目的を思い出します。



にんじんのにんにん

ふるや かおる／作 アリス館 **エホン**
【幼児～小学校中学年】

人参のにんにんは、土の中で冬を越し、春になると「ぐんぐんどんどのびるの術」で芽が出て花が咲き、枯れて種ができます。そして「分身の術」で、種をばらまき、畑はにんにんでいっぱいになります。人参の育つ様子を、忍法で楽しく表現しています。

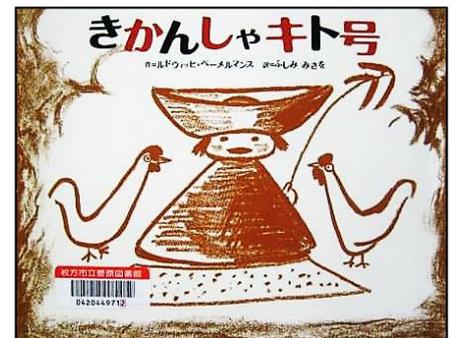


きかんしゃキト号

ルドウィッヒ・バーメルマンズ／作 ふしみ みさを
／訳 BL出版 **エホン** 【幼児～小学校中学年】

機関車が大好きな赤ちゃんのペドロは、姉さんが目を離れた隙に、一人でキト号に乗ってしまいます。次の駅で車掌さんに見つかったペドロは、

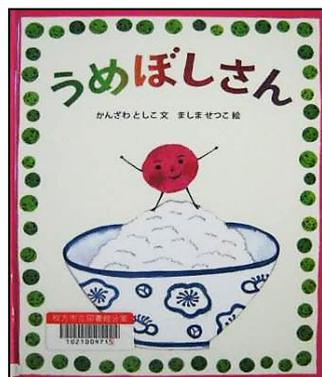
「ダダダ！」としか言えません。キト号はペドロを乗せたまま再び走りだし、車掌さんとペドロの旅が始まりました。



うめぼしさん

ましま せつこ／絵 かんざわ としこ／文
こぐま社 **エホン** 【幼児～小学校低学年】

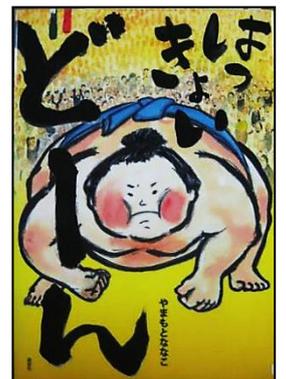
梅の枝からもがれた梅のこぼろずは、水で洗われ、塩をふられてかめに漬けられ、やがてうめぼしさんになります。そして、おかゆや、おにぎりなど、ご飯のおともとして重宝されます。うめぼしさんができるまでを、歌うようなリズムの良い文章と、ほのぼのとした絵で描いています。



はっきょいどーん

やまもと ななこ／作 講談社 **エホン**
【幼児～小学校低学年】

初優勝のかかった大一番に、小柄な「明の海」が、最強の横綱「武留道山」にはっきょいどーんとぶつかっていきます。横綱の容赦のない攻めにも屈せず、がっぷり四つに組みますが、とうとう土俵際まで追い詰められた明の海は、負けるもんかと踏ん張ります。迫力のある絵で、力士の息遣いと観客の歓声が伝わってきます。



日本のものがたり

ふしぎなコウモリガサ

如月 かずさ／作 はた こうしろう／絵
小峰書店 ヤサシイキサ【小学校低学年】

3年生のサキちゃんは、学校帰りに、コウモリガサからコウモリが逃げてしまったと泣いている、真っ黒ずくめの女の子「ノダちゃん」と出会います。かさには、コウモリの形の穴が開いていました。サキちゃんがバツテンの形に穴をふさぐと、「ノダちゃん」は十字架が怖いと叫びました。不思議な3話の短編集です。



こぶたのピクルス

小風 さち／文 夏目 ちさ／絵
福音館書店 ヤサシイコカ【小学校低学年】

「わすれ物がひとつもない」と自信満々の男の子のこぶた、ピクルスは学校へ行く途中、牛乳屋さん、パン屋さんの配達を手伝います。その後、まっすぐ家に帰ったピクルスは、学校に行くのを忘れるところでした。失敗しながらも元気いっぱいの子どもの楽しい日常を描きます。「ピクルスのわすれ物」他3話を収録しています。



影なし山のりん

宇佐美 敬子／作 佐竹 美保／絵 学研教育出版
F-ウサ【小学校高学年】

「影なし山」の泉にある水晶を人間たちが奪ったので、山の神の怒りをかい、水晶は黒い煙を吐き出す石に、泉は泥沼となります。黒い煙で山が枯れると思ったりんの母は、山を救うために泥沼に行ったまま、戻ってきませんでした。10年後、10歳になったりんは、母がまだ生きていることを知り、山と母を救おうと奔走します。



ニレの木広場のモモモ館

高楼 方子／作 千葉 史子／絵 ポプラ社
F-タカ【小学校高学年～中学生以上】

ニレの木の下で知り合った5年生の女の子のモモとモカ、4年生の男の子のカンタは放課後に児童館で壁新聞「モモモ館」を作り始めます。第1号の記事は「親切などろぼう」「バス代を払ってくれた見ず知らずのおじいさん」などです。生き生きと活動する放課後の子ども達を描きます。



それぞれの名前

春間 美幸／著 講談社 F-ハル
【小学校高学年～中学生以上】

一卵性双生児のユカとチカは髪型も持ち物も同じで、母親ですら見分けられないことがあります。でも、チカは大好きな千代田君にチカと呼んでほしいと思っています。一方ユカは小黑君にちゃんと見分けてもらえて、頬が熱くなりました。二人を含む、5年2組6人を描く連作短編集。



清政—絵師になりたかった少年

茂木 ちあき／作 高橋 ユミ／絵 新日本出版社
F-モテ【小学校高学年～中学生以上】

絵を描くのが大好きな少年政之介は画才にたけ、憧れの人気絵師鳥居清長の「清」をとり清政の名を名乗ります。実は鳥居清長の正体が父の市兵衛と知った政之介は、絵師として跡を継ぎたいと父に願い出ますが、家業の地本間屋（絵草紙の本屋）を継げと命令され、家を飛び出します。清政と「写楽」の謎に迫ります。



時のむこうにーいま、ここにいる

山口 理／作 最上 さちこ／絵 偕成社 **Fーヤマ**

【小学校高学年～中学生以上】

中学受験で塾に通う小学5年生の翔太は、祖母が語る昭和時代に憧れています。ある日、翔太は妹と昭和19年にタイムスリップします。おりしも戦時中で、物資が不足して食料もままならず、人々は空襲におびえていました。翔太と妹は服装等が時代に合わず、特高警察に追われます。「いま」をいかに生き抜くか、問いかけています。



すし食いねえ

吉橋 通夫／著 講談社 **Fーヨシ**

【小学校高学年～中学生以上】

屋台「与兵衛ずし」の息子・豆吉は、故郷の窮状を訴えようとする文四郎のため、勤定奉行主催のすしの御前試合に彼を忍び込ませようとしています。豆吉とおとつあんは文四郎を従え、新作ずしで勝負に挑みます。にぎりずしが誕生した頃を描いた時代小説です。すしの歴史年表も載っています。



外国のものがたり

ハンナの夢さがし

ベッティーナ・オプレヒト／作 若松 宣子／訳

偕成社 **Nーオフ** 【小学校高学年～中学生以上】

料理上手な10歳の女の子、ハンナは、3歳半年上の姉のヴァレリーの方が可愛いかもしれないけれど、自分の方が歌はうまいと確信しています。ところが、ヴァレリーが学校の舞台上で成功し、その上テレビ出演まで決まります。ハンナはどうしたら自分もテレビ出演できるかとあせりま



ぼろイスのボス

ダイアナ・ウィン・ジョーンズ／作 野口 絵美／訳

佐竹 美保／絵 徳間書店 **Nーシヨ**

【小学校中学年～小学校高学年】

マーシャとサイモンは、水晶玉から漏れた液で汚れた古いひじかけイスを、納屋に押しこみました。次の日、物音を聞いた二人が納屋をのぞくと、イス人間の『ぼろイスのボス』がいました。彼は、そのまま居候します。著者の短編集「魔法!魔法!魔法!」(徳間書店)の1編が1冊の本になりました。



ぼくと象のものがたり

リン・ケリー／作 若林 千鶴／訳 鈴木出版

Nーケリ 【小学校高学年～中学生以上】

少年のハスティンは熱病の妹の治療費のため、1年間インドのサーカスへ出稼ぎに行きます。彼は子象の世話係となり、水汲みなどの雑用に明け暮れ、象小屋で暮らします。その子象は芸を仕込むために幾度も刺されて弱っていき、ハスティンは子象を助けようとして、何度も脱出を試みます。子象と少年の絆を描きます。



アラスカの小さな家族

ーバラードクリークのポー

カークパトリック・ヒル／著 田中 奈津子／訳 レウィン・

ファム／絵 講談社 **Nーヒル** 【小学校高学年～中学生以上】

アラスカの小さな鉱山集落に住む5歳の女の子ポーには、アービットとジャックという二人の父さんがいます。母親に捨てられたポーが、鍛冶屋の二人に引き取られたからです。ゴールドラッシュ末期、美しく厳しい自然の中で、父さん達やエスキモー達から料理や裁縫を教わりながら成長するポーの1年を描きます。

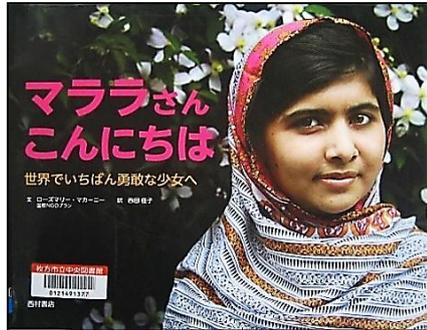


マララさんこんにちば - 世界でいちばん勇敢な少女へ

ローズマリー・マカーニー

／文 西田 佳子／訳 西村書店東京出版編集部

マララ・ユスフザイは、すべての子どもが、教育を受けられるようにするための活動をしています。マララに勇気をもらった世界中の女の子達が、彼女へ送った温かく力強いメッセージを編集した写真絵本です。



しもばしら

伊地知 英信／文 細島 雅代／写真 岩崎書店

チシキエホン-451 【幼児～小学校中学年】

しもばしら、どのようにでき、どんな場所にできるのか、なぜ地面の上に長くのびるのかを、数々の写真で説明します。しもばしらを作る実験、氷に関する解説も掲載されています。普段見ることの少なくなったしもばしらをじっくりご覧下さい。



わらうプランクトン

平井 明夫／著 小学館 チシキエホン-468

【幼児～小学校高学年】

池や海には、肉眼では見えないミジンコ、エビ、カニ、イカ、タコ、貝などの幼生、魚の稚魚などのプランクトンが多く生息しています。エイリアンのような顔、ひつじ顔な巻貝など、顕微鏡で見たプランクトンのユニークで個性豊かな写真が満載です。

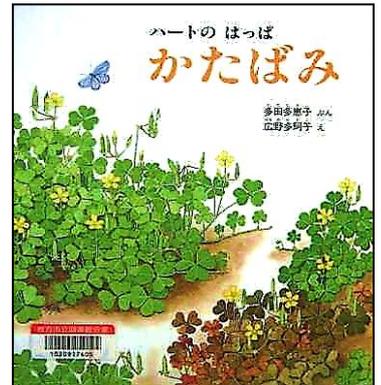


ハートのはっぱかたばみ

多田 多恵子／文 広野 多珂子／絵 福音館書店

チシキエホン-479 【小学校低学年～中学年】

小さな黄色い花を咲かせるかたばみの目印は、三つ集まったハートの葉っぱです。背の低い小さな植物ですが、道の片隅やコンクリートの隙間でたくましく育ち、生き抜くための様々な工夫をしています。足元の草花から新たな発見をしてみませんか。



このあしだあれ？

ネイチャー&サイエンス／編 河出書房新社

チシキエホン-480 【幼児～小学校低学年】

クローズアップした動物達の足の写真から、その特性がどんなものかをクイズ形式で説明します。紹介される11種類の足は、木登りが得意な足、物にくっつく足、地面を歩く・走る足、水中を泳ぐ足など、環境に適応した形態へと進化しています。同シリーズに「うーん、うーん、うんち！」があります。



アリとくらすむし

島田 たく／写真・文 ポプラ社

チシキエホン-486 【小学校低学年～高学年】

アリは、アブラムシのおしりから出る甘い汁を吸い、アリヅカコオロギはアリからえさをもらいます。アリスアブはアリの幼虫を食べ、ハネカクシはアリ



に紛れて敵から身を隠します。アリと一緒に生きる様々な虫達の様子が、接写された写真からはっきり見えてきます。

ふゆのむしとり?!

はた こうしろう/作 奥山 英治/作 ほるぷ出版
チシキエホン486【小学校低学年～高学年】

兄弟が虫取り網を持って、冬の虫取りに出かけます。二人は、冬を越す虫のマユや卵、腐った木の中に隠れている幼虫や成虫のクワガタなどを見つけてます。虫達の生態がイラストで解説され、冬の虫を見つけるコツがわかります。前作に「むしとりにいこうよ!」があります。



ガザー戦争しか知らない子どもたち

清田 明宏/著 ポプラ社 319
【小学校高学年～中学生以上】

パレスチナのガザ地区で、爆撃により一瞬にして瓦礫になった家の前に立つ子ども達。現地の保健所や診療所で働く職員や看護師達は、ガザの再建を誓い、日本の子ども達に、戦争の恐怖や不安に苦しむガザの子ども達の状況を想像してほしいと、メッセージを送ります。



日本の妖怪百科 ビジュアル版

岩井 宏寛/監修 河出書房新社
388【小学校低学年～中学生以上】

不思議な出来事や現象を、妖怪の仕業にしてきた日本では、さまざまな絵巻物や文学作品に、妖怪が登場してきました。その妖怪を出現場所ごとに、山の妖怪、水の妖怪、里の妖怪、屋敷の妖怪など、絵巻物の絵と合わせて紹介していきます。「日本の妖怪百科(2000年刊行/全5巻)」が一冊の本に再編集されました。



玉の図鑑

森戸 祐幸/監修 学研教育出版 404
【小学校中学年～高学年】

自然界に存在するものから人工的なものまで、大小様々な「玉」は魅力的で面白い形をしています。天体、卵、ビー玉などの他に、「宝」の意味を持つ「玉」として宝石などがあげられ、また「玉」の持つ性質を利用した技術として、ボールペンのペン先の玉も紹介されています。あらゆる角度から集めた「玉」を眺めてみませんか。



へんないきものすいぞくかん ナゾの1日

なかの ひろみ/文 松橋 利光/写真 480
アリス館【小学校中学年～高学年】

鳥羽水族館で飼育されているへんな生き物達は、みんなと違ってスゴイのです。そのスゴイ生き物の、謎の一日を写真で紹介しています。まるで映画に出てくるエイリアンや、巨大昆虫そっくりの生き物達の世界をのぞいてみませんか。



カブトムシ vs. クワガタムシ 強いのはどっちだ!

ー森のファイターたちは、どうやって生まれたのか
本郷 儀人/著 講談社 486【小学校高学年～中学生以上】

カブトムシや、クワガタムシのオス達は、りっぱな角と巨大な大顎を駆使して、子孫を残すため、樹液のしみ出す餌場にやって来たメスをめぐって戦います。雑木林で観察した戦いのデータを公開し、戦い方のルールや進化の秘密を解説しています。



ジンベエザメのはこびかた

高岡 昌江／文 松橋 利光／写真 宮野 耕治／絵
ほるぷ出版 487 【小学校中学年～中学生以上】

世界一大きい魚ジンベエザメを、高知県から大阪の海遊館まで460kmの道程を大型トレーラーで運びます。獣医など生き物のプロ10人と、運送会社など運ぶプロ8人が力を合わせ、車に載せるのに約5時間、運ぶのに約10時間かかりました。多くの写真とイラストでジンベエザメの旅を見せてくれます。



かき氷 - 天然氷をつくる

伊地知 英信／文 細島 雅代／写真 岩崎書店
588 【小学校中学年～中学生以上】

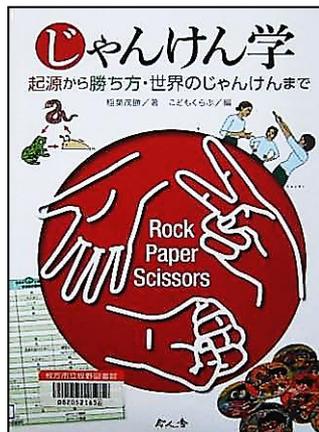
明治時代から埼玉県長瀬^{ながとろ}では、晩秋から冬にかけ、氷池に落ち葉を入れらないよう毎日掃除をし、ゆっくりと厚みのある天然氷を作ります。その^{あさみ}技術を継ぐ氷屋の阿佐美さん一家を、取材したフォトドキュメントです。真冬に作った氷を、夏まで残す技術の秘密に迫ります。



じゃんけん学

- 起源から勝ち方・世界のじゃんけんまで
稲葉 茂勝／著 こどもくらぶ／編 今人舎 (国立)
798 【小学校中学年～中学生以上】

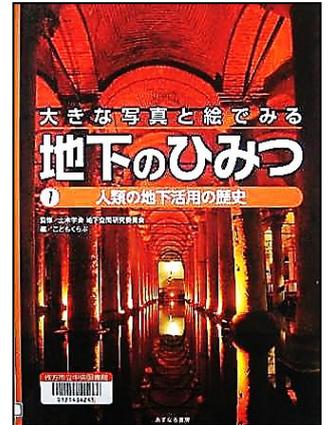
いつどこでできたのか、なぜ「最初はグー」なのか、必勝法はあるのかなど、「じゃんけん」にまつわる多くの謎に答えます。じゃんけんという日本文化を再発見し、コミュニケーションの手段にしてみませんか。シリーズに「けん玉学 (窪田保著)」もあります。



大きな写真と絵でみる地下のひみつ 1: 人類の地下活用の歴史

こどもくらぶ／編 土木学会地下空間研究委員会/監修
あすなる書房 510 【小学校中学年～中学生以上】

人類は、旧石器時代に地下を居住地とし、紀元前には古代ペルシャの地下水路(カナート)、トルコ(カッパドキア)の地下都市を作り、古代ローマでは水道を建設するなど、地下を活用してきました。写真、図版を駆使して地下の解剖に挑みます。(全4巻)



木と日本人 1: 材木 - 丸太と板

ゆのき ようこ／監修・文 長谷川 哲雄／樹木画
理論社 657 【小学校中学年～小学校高学年】

材木の説明から始まり、家や橋の建材や、稲作の道具や家具として、日本人が大昔から衣食住に利用してきた木の特性と、暮らしの歴史を紹介します。写真やイラスト、図版も多く使われ、木と日本人の関わりを幅広く知ることができます。(全3巻)



なぜなに日本語

関根 健一／著 三省堂
810 【小学校中学年～中学生以上】

「『海海海海海』 - なんと読む?」、「『青信号』なぜ緑色?」など、語彙・漢字・文法・敬語・語源に関する200話を収録し、日本語への疑問に簡潔に答えています。右ページは漢字に読み仮名の付いた子ども向け、左ページは大人向けの詳しい解説になっています。読売新聞、教育面掲載記事の書籍化です。

